

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 都立高校における日本語指導支援

## 都立高校における日本語指導支援が開始されました！！

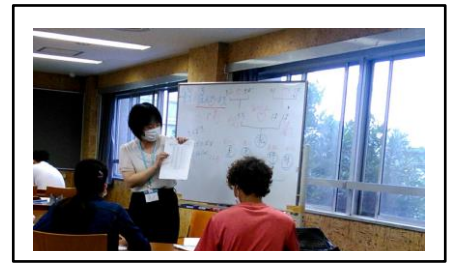
地域学校教育センター長 高野敬三

COVID-19の感染拡大を受けて都立高校では臨時休業が行われていましたが、都立飛鳥高校定時制課程では6月25日から、都立南葛飾高校では6月26日から本学の院生及び日本語学科の学生による日本語を母語としない都立高校生に対する日本語指導支援が始まりました。

都立飛鳥高校全日制課程の初回の日本語指導支援となる6月29日には、外国籍の飛鳥高校生9人(国籍は中国、スリランカなど)に対して、本学日本語学科の木山三佳教授の下、本学大学院生の升谷理紅さん、日本語学科4年の齋藤菜々花さんが講師となり、最初はレベル分けテスト、ディクトグロス(聞き取り)、ジグソーリーディング(文脈整序)やクローズ法テスト(穴埋め)問題などを繰り返しました。

6月30日の都立南葛飾高校全日制課程では、日本語学科4年生の藤谷響さんと沈伽迪さんの2人が担当し、生徒6人ずつ(国籍は中国、フィリピン、ネパールなど)の2教室に分け、自分の国の料理の作り方を教えるロールプレイなど実践的な指導が行われていました。

7月1日の都立飛鳥高校定時制課程では、大学院生の林苗さん、4年生の齋藤菜々花さん、風間みなみさんの3人が担当し、生徒16人(国籍は中国、ネパール、バングラディッシュなど)に対しレベル分けテストを行った後、3グループに分け、家族を表す名詞、好きな食べ物、自己紹介をするときの丁寧な言い方などを指導しました。高校生たちは、それぞれの指導に手ごたえを感じていました。



この日本語指導支援は、とてもやりがいがあります。生徒が文法や用法を覚えてくれて、それを使うようになることで私は嬉しさに一杯になります。作成した教材の良い点や改善点を見つけることもできます。先日、ある高校の生徒にテストより先生の授業が良いと言ってもらえた時は、これからもっと内容の濃い授業をやろう！頑張ろう！とより一層やる気ができました。今後も生徒にも自分にもプラスになる支援を続けていこうと思います。

日本語学科4年 齋藤菜々花

外国にルーツをもつ高校生が日本の公立学校に入ることができても、日本語がわからないことから授業を理解できず、学校になじめず孤立して不登校になり、中退してしまうケースがあるという記事を目にしました。せめて私が大学で学んだ日本語教育が高校生の役に立つのであればと思い日本語指導支援に参加しました。生徒たちは放課後に集まって授業をしますが、真剣に授業に取り組み発表もしてくれます。授業後の「先生、ありがとうございました」の一言を聞くと、参加してよかったと心から思えます。

日本語学科4年 藤谷響

## 新浦安ワーカーズコープ再開

特定非営利活動法人ワーカーズコープは、小学校4年生から高校在学年齢の子どもを対象に、勉強や進学、就職や将来に対する不安を解決する手助けをしています。本学からは英米語学科3年高橋勇気さん、同3年佐久間健佑さん、同2年君塚翔伍さん、同2年の及川龍之介さんが6月10日から学習支援事業のボランティアに参加しています。今後は順天堂大学医療看護学部ボランティアとのコラボも予定しています。担当の齋藤香代子さんは、「明海大学の学生さんが多数来ていただき、子供たちに対しわかりやすく、楽しく学習支援をしてくださりととても感謝しています」と語っています。



## 教員採用試験・新入生の思い等

2021年度教員採用試験が、7月12日(日)に千葉県、東京都、埼玉県、新潟県等で実施されました。本学からは現役、卒業生を含め、総勢30人が挑戦いたしました。それに先立つ7月8日(水)には「壮行会」が開かれました。METTSで真剣に学修する4年生の緊張感が良い意味で3年生、2年生、1年生にも伝わり、今年も素晴らしい雰囲気は伝承されています。採用試験を受験したすべての4年生と卒業生の合格を教職課程センター運営委員一同は心から祈念申し上げます。

2020年7月8日(水)に、恒例の教職課程センター主催の「2021年度教員採用試験壮行会」が開かれました。今年度東京都、千葉県、新潟県等の中高・国語、中高・英語、小学校全科で教員採用試験を受験する20人の学生を始め、1年生から3年生の教職課程履修学生、本学職員、METTSの教職員等総勢80人が集まり、例年以上の盛り上がりのある壮行会になりました。高野敬三副学長・外国語学部長・教職課程センター長からは、激励の言葉と一人ひとりにあてたメッセージ、亀戸天神のお守り等の贈呈がありました。メッセージと必勝お守りを手にした学生は、これまでの教職課程での学修を振り返り、強く教員採用試験の合格を胸に刻みました。今年度の受験生代表の英米語学科4年の鶴巻紗希さん、日本語学科4年の増田皐佑さんの力強い「合格」に向けての決意表明がありました。二人の決意表明は、今までご指導いただいた先生方への感謝、今日の激励会に参加してくださった皆さんへの感謝、そして受験生が一つになり、本番もみんなで頑張ろうという内容でした。最後に学事課(教務担当)の佐久間健二課長補佐、外国語学部の前田隆子講師、METTSの教職員一人ひとりから激励メッセージがありました。

明海大学は、教員採用試験での健闘と最終合格を手にするまでの努力に対し心から応援しています。すべての受験生が最終合格を手にするのを祈念申し上げます。



### 待ちに待った明海大学での大学生活開始！！

6月15日(月)から一部の対面授業が始まり、6月29日(月)からは多くの授業で対面授業が始まりました。今年度の入学生は新型コロナウイルスの関係で、高校での卒業式に出た者は少なく、また本学の入学式も中止となり、大切な儀式を経験した者はほとんどいません。通常は入学に際して大規模なガイダンス等を行います。今年度は簡略版でのスタートになりました。1年教職履修学生59人(日本語20人・英米語39人)は、期待よりも不安を抱いた中で大学の開始をどのように受け止めているのでしょうか。代表2人からコメントをいただきました。(6月29日執筆)

#### 鎮目笑多さん(英米語学科1年)

憧れの明海大学に入学し、対面授業が開始したばかりで、大学での生活リズムにまだ慣れていないと言いはり難いです。今は学外での生活と折り合いをつけつつ、これからはできる限り大学生としてふさわしい生活に適應して行きたいと思っています。

#### 橋口和希さん(日本語学科1年)

私は教員を目標にこの明海大学に入学しました。日本語学科の先生は、わからないことは熱心に教えてくれます。明海大学に入ってから、「わからない」が「わかる」になるのが楽しくなりました。大学で沢山学び、立派な教員になるための土台を作りたいです。

#### アゴラ活用状況(人)

6月	426
2018年度から延べ数	27,401